

～会長の時間～

【五大奉仕 職業奉仕編】

職業奉仕の理念と原点①

ロータリーの奉仕理念は東洋的発想と似ている部分がある影響からか、仏教や儒教のような東洋思想を引き合いにして奉仕を語る人がいますが、たとえ似ている側面はあったとしても、その本質はシェルドンの奉仕理念とは根本的に違うものであることを強調しておきたいと思います。

マックス・ウエーバーの天職論がロータリーの職業奉仕の根底にあると説く人もいますが、これも明らかな間違いです。マックス・ウエーバーが彼の代表的著作である「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を発表したのは1905年のことであり、シェルドンはそれよりはるか以前に職業奉仕の理念を構築して、それを実社会で応用するためのビジネス・スクールを経営していたからです。

職業奉仕を倫理高揚運動と説く人がいますが、これも大きな間違いで、職業奉仕とは科学的かつ合理的な企業経営方法のことであり、シェルドンの職業奉仕理念に則った企業経営は顧客の満足度を最優先した方法であり、そのような事業経営をする事業所は、当然のことながら高い職業倫理を備えた事業所であるという結果が現れます。

シェルドンはミシガン大学の経営学部を卒業した後、1902年に、シカゴにビジネス・スクールを設立して、その教科書を出版すると共に、サービスの理念を中核にした販売学を教える道を選びます。後日、ロータリーの職業奉仕理念の中核となった「He profits most who serves best」に基づくサービス学の概念を、科学として捉え、それを体系的に教えることが、シェルドン・ビジネス・スクールの方針だったのです。

シェルドンの奉仕理念は宗教でも倫理でもなく、修正資本主義に酷似した企業経営理論に基づいた純粋な経営学です。ケインズによって修正資本主義が日の目を浴びたのは、世界大恐慌後の1935年ですから、シェルドンそれよりも35年も早く、修正資本主義を先取りした経営学を、シェルドン・スクールで教えていました。

ピーター・ドラッカーも最初の論文を発表したのは1933年ですから、シェルドンはこの3人の中で最も早く、この学問に手を染めていたわけです。

(職業奉仕の理念と原点 2680 地区 PDG 田中毅より抜粋)

坂井西警察署

村中交通課長

新入会員
森岡正己さん

ご結婚記念

祝福タイム!